

バードハウスプロジェクト運営委員会

第1回会議議事録

会議名	バードハウスプロジェクト運営委員会第1回会議
会議主管部署	済州特別自治道環境政策課
会議開催日時	2021年5月7日14:00～16:00
会議開催場所	ICC JEJU 3階302号
参加者名簿	済州特別自治道バードハウスプロジェクト運営委員会 (アイデンティティ研究所パク・ソフ所長、環境デザイン工学博士クォン・ヨンドク、済州大学美術学科カン・ミンソク教授、前弘益大学産業美術大学院チェ・ジョンソク教授、済州大学建築学部キム・テイル教授、インスタレーション作家チョン・ジョン Chol、バードハウスプロジェクト芳野大樹理事長、済州特別自治道環境保全局ムン・ギョンスム局長) 済州特別自治道環境政策課カン・スンヒャン チーム長、キム・ギョンミ主務官 済州国際コンベンションセンター チョン・ドヨン チーム長、チョ・ソンウン代理
<p>- 会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の紹介及び開会 2. 環境保全局長挨拶 3. 委員長の選出 4. 2021年度バードハウス作品展示会及び付帯イベント企画案の審議 5. 質疑応答及び意見の提示 	
<p>- 委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 済州大学美術学科カン・ミンソク教授を選出(出席委員全員が同意) 	
<p>上程案件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2021年度バードハウス作品展示会及び付帯イベント企画案審議の件 	
<p><u>2021年度バードハウス作品展示会事業の内容の説明</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 地球環境デザイン作品を活用した展示参加 - 地球環境デザイン教育用作品動画の制作 - 地球環境デザイン教育プログラムの実施など - 事業参加人材のキャリアの説明 	
<p><u>委員別の発言の要旨</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パク・ソフ アイデンティティ研究所所長 <ul style="list-style-type: none"> - 長期的なプロジェクトとして進める計画で、バードハウスの趣旨や意味について中身のあるディスコースが形成されるような全体的な企画(ロードマップ)が先行すべきである ○ クォン・ヨンドク フリーランサー環境デザイン工学博士 <ul style="list-style-type: none"> - 展示、動画、教育プログラムという3つのプログラムを無理して進めるよりは、 	

重点的に実施するに値するプログラムの選択と集中が必要である

- カン・ミンソク 済州大学美術学科教授
 - 効率的なイベントの実施のために展示を縮小し、動画プログラムを強化して実施する必要あり
運営委員会の意見を反映させた事業計画書の修正が必要
- チェ・ジョンソク 前弘益大学産業美術大学院教授
 - 済州を訪れる観光客にもPRできればずっと意味のあるイベントになると思われる
- キム・テイル 済州大学建築学部教授
 - 作家中心の展示ではなく、道民及び観光客参加型のプロジェクトとしての企画が必要
展示と動画、教育プログラムが互いに関連性をもって実施される必要があり、道民が参加でき、環境の価値について共有できるプロジェクトの実施が必要
- チョン・ジョンチョル インスタレーション作家
 - 展示は場所性の限界を持っているため、専門的な技術スタッフを動員して動画を制作し、YouTubeをはじめとするSNSなど様々なオンライン・プラットフォームにおいて活用すべき
- 芳野大樹 バードハウスプロジェクト理事長
 - イベントの長期的なビジョンを考えるのも必要であり、かつ作品の管理など基本的な部分も疎かにしてはならず、既存の所蔵作品の破損に注意してメンテナンスが必要である
バードハウス作品の所蔵状況及び管理体系を運営委員会に持続的に伝達する必要あり

決定事項及び後続措置

- 決定事項
 - 2021年度バードハウス作品展示会及び付帯イベント企画案審議の件の原案を議決
(出席委員全員が同意)
- 後続措置
 - 展示を縮小して実施、動画プログラム制作の強化を実施
 - バードハウスの趣旨や意味が盛り込まれた全体的な企画案が必要
 - バードハウス作品の所蔵状況及び管理体系の運営委員会への持続的な伝達が必要

写真台帳

